

お知らせ

長浜・北びわこ大花火大会 ごみの持ち帰り運動にご協力を

8月5日(土)午後7時30分から、長浜港湾一帯で開催の花火大会は、気持ちのいい花火となるよう、ごみの持ち帰り運動にご協力をお願いします。

西中生徒会で作成された
ごみのポイ捨て禁止啓発用のポスター



西中生徒会の若泉亜耶子さん(左)、大地くん(中)、沢田光加里さん(右)

また、会場周辺には駐車場がありませんので、マイカーでの来場はご遠慮ください。

熱血！献血！チツチキ血い〜！

～たすけ愛。命と絆と献血を～
9月3日(日)午前9時～午後4時
臨湖・長浜港周辺

《湖北長浜1000人献血運動》

映画「男たちの大和/YAMATO」上映(500円/人・中学生以下無料)『生きること』への執着。友との『絆』『愛』。様々な想いを映画を通して感じてください。環境学習船「水水号」竹生島遊覧(500円/人・要予約)熱血献血ライブ(地元大学生・高校生の生演奏)お楽しみ大抽選会、手作り体験授業、骨髄バンクPR、缶バッジ、子ども免許証、バルーンアート模擬店(カレー、かき氷、ポップコーン他)など全血献血(400mlのみ) 200人 臨湖前広場成分献血 30人 湖北献血ルーム(列見町) 要予約七色の献血文鎮プレゼント！(成分献血のみ)



2003、男たちの大和/YAMATO 製作委員会

お問合せ・ご予約は、1000人献血の会事務局
《市健康推進課内》(☎7779)へ。

今回は、7月6日に「長浜ウォークらぶ」のみなさんと「歩くことを通して健康に暮らせるまちづくり」について懇談しました。長浜ウォークらぶは、歩くことを通した健康増進と仲間づくり、社会貢献などを目的に、平成10年に発足され、現在、約350人の会員がおられます。月1回のウォークや年1回のバス＆ウォークのほか、びわ湖長浜ツアー、マーチのボランティアスタッフとしても活躍されています。会員のみなさんからは、歩き出したことで、体重や血圧などの数値が目に見えて改善され、健康増進につながったことや、人づきあいが増え、世間が広がったなどの意見がありました。また、長浜市に、たくさんある史跡を散策できる環境を整備す

市長からは、各地を歩いてきた経験を生かし、観光面など、今後のまちづくりにご協力いただきました。といった話がありました。



7月6日、長浜市民会館会議室で

市長と気楽にトーク 歩くことでみんなが健康なまちを

市長と気楽にトーク
市長からは、歩くことを通した健康増進と仲間づくり、社会貢献などを目的に、平成10年に発足され、現在、約350人の会員がおられます。月1回のウォークや年1回のバス＆ウォークのほか、びわ湖長浜ツアー、マーチのボランティアスタッフとしても活躍されています。会員のみなさんからは、歩き出したことで、体重や血圧などの数値が目に見えて改善され、健康増進につながったことや、人づきあいが増え、世間が広がったなどの意見がありました。また、長浜市に、たくさんある史跡を散策できる環境を整備す

市では、市内で自主的な活動を行うグループや団体を対象に、これからのまちづくりについて、市長と懇談する「市長と気楽にトーク」を開催しています。



コミュニケーションと食事に 障害がある方を支援 言語聴覚士

市立長浜病院では、4月から言語聴覚士を配置しています。

言語聴覚士(ST:スピーチセラピスト)は、病気や事故、発達上の問題などによって、言葉や聴こえといったコミュニケーションに障害のある方、また、ものを食べたり、飲み込んだりすることが困難な方



検査で患者さんの状況を確認

に対し、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、介護士など様々なスタッフと連携を取りながら、検査・評価を実施し、必要に応じた訓練や援助を行います。

「言葉が出しにくい、うまく発音できない、飲み込みにくいなど、様々な悩みや不安を抱えている方がたくさんおられます。私たちの役割は、話す・聞く・食べるといった能力が少しでも良くなるよう支援すると同時に、残っている能力を最大限に活かして、患者様やご家族の方々にとってより良い生活を送っていただけるように援助することだと思っています。患者様やご家族の方々の思いに対して、十分な援助を行うことができず、悩むこともあります。患者様一人ひとりの目標に向かって、共に歩めたとき、そして素敵な笑顔に出会えたときはとてもうれしいですね」と言語聴覚士の西 杏奈さん。

言語聴覚士の西 杏奈さん

脱腸・・・？

市立長浜病院 外科
赤 神 正 敏 先生

「脱腸・・・？何や聞いたことあるけど、これって子どもの病気とちゃうんか？ほっといても死にはせんやろう？でも手術せんと治らんらしいで」というのが脱腸に対するイメージではないでしょうか。何を隠そう、私も医師になるまで、その存在すら知りませんでした。

ところで、脱腸の正式名をご存知ですか？答えは「鼠径ヘルニア」(大腿ヘルニアも正解ですが、これはマイナー)です。鼠径部とは、足の付け根の部分で、症状は、付け根の少し上あたりが膨らん

でくるのが一般的です。痛みを伴うことは多くないようですが、放置すると、まれに硬く腫上がり、強い痛みが出てくる場合があります。この状態を「嵌頓」といいます。こうなると、急いで手術をする必要があります。そのままにしておくと、腸が腐ることもあるからです。ですから、ひどくならないうちに治療(手術)することが推奨されます。「でも手術って大人の場合はかなり痛いらしいで、突っ張った感じも残るし、嫌やなー」と噂されているようですが、最近は手術方法も改良され、痛みは大分ましになっています。また、術後、平均4～5日で退院されており、今後は日帰り手術も取り入れていく予定です(以前は1週間かかっていました)。身近に脱腸の方がおられましたら、外科を受診されてはどうでしょうか。